外為どっとコム総研
外為トゥデイ
Daily
主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

3月9日（火曜日）
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

昨日に続き材料難・・・

8日（月）の主な推移

期間 ： 8日（月）午前7時～9日（火）午前7時
※チャートは30分足　　日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

①	5日の米雇用統計を受けて同日のNY株式市場が122ドル高となった事を好感し、日経平均株価が170円近く値上がりして始まると、リスクに対する積極性が増し、ドルや円を売ってユーロや豪ドルを買う動きが強まった。
②	アジア市場の株高や時間外のNYダウ先物の上昇を背景に、欧州勢がユーロ買いで参入したものの、ユーロ/円、ユーロ/ドルともに、上値での戻り売り圧力が強く、欧州株が前日比で小幅安に転じたこともあり、じり安の展開となった。
③	ギリシャのパパンドレウ首相が、「ギリシャの危機が悪化した場合は新たな世界的金融混乱を招く恐れがある」と警告したことに加え、堅調にスタートしたNYダウ平均株価が下落に転じた事から、リスク回避の動きが強まると、ユーロ/円は 122.79 円、ユーロ/ドルは 1.3604 ドル、豪ドル/円は 81.90 円と、それぞれ安値を付けた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ（ユーロ/円上昇要因）
・主要新興国（BRIC s）を中心にドル離れに動くとの観測（ユーロ上昇要因）
・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下（ユーロ/ドル上昇要因）
・米景気回復に伴う米長期金利の上昇（ユーロ/ドル下落要因）
・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ（ユーロ/円下落要因）

豪ドル/円の要因

・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ（豪ドル/円上昇要因）
・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大（豪ドル/円上昇要因）
・株価、資源価格の上昇（豪ドル/円上昇要因）
・日銀による追加金融緩和観測（豪ドル/円上昇要因）
・豪州中銀による利上げ観測の後退（豪ドル下落要因）
・株価、資源価格の下落（豪ドル下落要因）
・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ（豪ドル下落要因）

本日の見通し

本日の予想レンジ
ユーロ/ドル：1.3500-1.3700 ドル
ユーロ/円　：122.00-124.00 円

本日も新規の取引材料に乏しく、各国株式市場や国際商品市場の動向を睨みつつの展開となりそうだ。目先の不安はやや薄れたとはいえ、ギリシャ問題がくすぶるユーロの上値は重く、特ににユーロ/円については、本邦輸出筋の売りも観測されており、引き続き上値を抑える要因となりそうだ。昨日の高値付近であるユーロ/円の 124 円やユーロ/ドルの 1.37 ドル前後では戻り売り圧力が強まる事が予想される。

本日の予想レンジ
豪ドル/円：81.30-83.00 円

材料難の中、各国株式市場や国際商品市場の動向に左右される展開となりそうだが、材料難は株式市場も同じで、もみ合いが予想されるため、豪ドル/円相場も動意に乏しい展開となりそうだ。ただ、追加緩和観測のある円と、追加利上げの可能性を探る豪ドルとの対比から、豪ドル売り・円買いは進めづらく、豪ドル/円の下値は限定的であろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示　　日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
3/9(火)	27:00	○	（米）財務省 3 年債入札（400 億ドル）		

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではございませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された 意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com